

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福祉会

【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】

令和4年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

1. 役員会

(1) 理事会の開催状況

開催日	出席者数	議案
6月8日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none">・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）・ 社会福祉法人長岡東山福祉会支出予算の流用について（報告）・ 令和3年度事業報告及び決算、並びに監査報告について・ 利用者預り金規程の一部変更について・ 高齢者虐待防止のための指針の制定について・ 身体拘束等適正化のための指針の一部改正について・ 特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について・ 特別養護老人ホーム花の里かつぼユニット型地域密着型介護老人福祉施設運営規程の一部改正について・ グループホーム花の里かつぼ認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）運営規程の一部改正について・ デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（介護予防共用型認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について・ 短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について・ デイサービスセンターかつぼ園通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について・ 長岡市デイサービスセンターふそき通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について・ 長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について・ 長岡市デイサービスセンターふそきくらし元気アップ事業運営規程の一部改正について・ 在宅介護支援センターかつぼ園居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について・ 介護プランセンターふそき居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について・ 長岡市地域包括支援センターふそき（介護予防支援）運営規程の一部改正について・ 就業規則の全文改正について・ 準職員等就業規則の一部改正について・ 給与規則の一部改正について・ 法令遵守規程の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・慶弔規程の一部改正について ・育児・介護休業等に関する規則の全文改正について ・定時評議員会の招集について
12月22日	理事6名より 同意書提出 監事2名より 確認書提出	<p>【大雪の影響により書面表決】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告） ・令和4年度第1次補正予算について
3月27日	理事6/6名 (監事1/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告） ・令和4年度第2次補正予算について ・令和5年度事業計画並びに当初予算について ・無線ケアコールシステム「ココヘルパ」整備に伴う入札執行等について ・非常災害時における自衛活動要領の全文改正について ・就業規則の一部改正について ・給与規則の一部改正について ・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について ・特別養護老人ホーム花の里かつぼユニット型地域密着型介護老人福祉施設運営規程の一部改正について ・グループホーム花の里かつぼ認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）運営規程の一部改正について ・ハラスメント防止規程の制定について ・役員等賠償責任保険契約について

（2）定時評議員会の開催状況

開催日	出席者数	議案
6月16日	7/7名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画並びに当初予算について（報告） ・令和3年度事業報告及び決算、並びに監査報告について

2. 事業運営の成果

(1) 法人本部事務局

① 財務に関すること

- ・入所系事業所の稼働率向上

昨年度まで事業所毎に行われていた新規ご利用者確保に向けた活動を、「チーム東山福祉会」として法人内事業所協同の取り組みとして開始した。これにより1事業所が関わりを持った居宅介護支援事業所等が持つ地域の動向等の情報が法人内で共有され、法人の広報等が効率的に行えるようになったため、特に入所系事業所の安定した高い稼働率の維持、向上に活かされ、結果、収益増に繋がった。また、共用デイサービスについては、事業規模は小さいが、実人数を平均1.2人増やしたことで平均稼働率が19.5%上昇し、グループホームと一体で見ると減価償却前の収支差額がプラスまで改善した。次年度はこの取り組みを稼働率の維持・向上だけではなく、中核的業務の改善や物品管理・購入等についても実践し、一層の収支改善を図りたい。

- ・通所介護事業の建て直し

認知症対応型通所介護をはじめとする通所事業の稼働率低下に伴う収支悪化の改善を図るため、法人内でプロジェクトを結成し全員で課題を洗い出し、改善策のシュミレーション等を検討し取り組んだ。しかし認知症対応型通所介護については、事業内容の利点をご家族やケアマネジャーに伝えきれず、ご利用者数の減少を回復させることができず、長岡市との協議により休業した。休業後も通所介護事業が安定した稼働率を保てるよう取り組み、一定の成果を出すことができた。

② 人材育成と人員確保に関すること

- ・人材育成と人事考課

人材育成委員会の主幹による研修計画に沿って職員研修を実施した。研修後内容を自ら考えてもらうため振り返りシートを見直し達成度の確認を行った。

役職者に対しては本部主導により、その役割や責任等の理解を深める目的で、小グループにて研修を行った。また5S活動やアクションプラン遂行への助言等、本部職員が意識して管理職とかかわりを持ち育成に努めた。役職者を含め職員全体の成長は確実にみられるものの、拠点間の情報伝達の在り方や意欲向上への働きかけ等課題も多い。

また職員の育成を目的とした人事考課も継続し実施した。自己考課、一次考課ともに統一した考え方で評価ができるよう、指標を分かり易く示した基準書を作成し取り組んだ。開始年度から比較するとバラツキは少なくなったが、まだ統一した考課内容とはなっておらず、考課者の育成が急がれるため、さらに研修を強化する。

- ・人材確保

人材確保は困難を極めた。この取り組みに多くの時間を割ける職員がいないこともあり、学校との繋がり等も十分持つことはできなかった。人員体制等が今後の大きな課題といえる。

- ・心のサポート事業

心にストレスを抱える職員を支援するため、心理師による心のサポート事業を立ち上げ実施した。導入年度でもあり職員への周知に重点を置き、気軽に利用できるよう法人施設外で場所を設けた。14回実施、12名（延べ人数）が利用した。

③ 情報発信に関すること

- ・法人広報委員会の取り組み

法人広報委員会において、これまでの広報「東山通信」（年3回）の発行とホームページでの情

報発信に加えインスタグラムを本格的に開始した。インスタグラムは、コロナ禍で面会制限が続く中、ご利用者の日々の様子をご家族にお伝えする手段として、これまでのお便り（紙面）では限りのあった写真や動画をタイムリーに掲載できるため、ご家族から「楽しそうで良かった」等のメッセージをいただくことができ職員の励みにもなった。

運用初年度ということもあり、上手く活用できた事業所とできなかった事業所があるため、法人広報委員会を中心として多くの事業所から発信できるようにする必要がある。

④ 地域連携に関すること

・花華クラブ

主にケアセンター花の里かつぼの花壇整備活動を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた時期もあったが、年間 13 回実施できたことは、コロナ禍でボランティアの受入れができず、職員だけでは手が回らない園庭の維持管理に貢献できた。また、会員自身の閉じこもり予防や仲間づくりの場となっているが、参加者の高齢化により会員数が減少している。

・お元気学校

介護保険事業対象外の要援護者を対象とし、軽体操やミニゲーム、作品作り、市内施設への外出等参加者の希望をお聞きしながら、様々な活動を提供した。外出の機会が少ない参加者も多く、この事業の参加をきっかけに「友達ができた」との声が多数あり、皆さんの生活意欲向上や仲間づくりにも繋がった。

・レインボー健康体操

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない日が多かったが、令和 4 年度は定期開催することができた。以前の参加者の中には体調不良者等おられ、最初は参加者も少なかったが、年度途中からは新規の方も増え、「交流できて楽しい、また来たい」などの声が聞かれた。なお、外部団体への講師出向は差し控えた。

・介護体験教室

昨年度に引き続き 12 月に山本中学校 1 年生の総合学習の一環として介護体験教室を開催した。法人の若手職員が担当となり、介護の魅力や地域と交流する楽しさなどの講話や、レインボー健康体操、高齢者疑似体験、福祉用具事業者の協力を得て最新式車椅子や歩行器等の体験等を実施した。生徒の皆さんからは「介護の仕事をやってみたい」「介護はハードな仕事だと思っていたが、中でも高齢者とのふれあいや楽しみがあることがわかり興味を持てた」等の感想が寄せられ、介護の現場を知ってもらえるきっかけとなった。

(2) 法人本部総務課 (事務係・総務係)

①事務係

- ・財務分析については簡潔かつポイントを押さえた報告を行えるよう取り組んだことにより、十分ではないが事業所間との連携や分析の理解、事務係の報告の仕方の資質向上に繋げることができた。
- ・消耗品の一括購入の取り組みについては、単価を抑えることができ経費削減につながった。さらに事業所間での検討や情報共有を行い、令和 5 年度予算に反映することができた。
- ・会計処理の間違えやすい処理を具体的に示したことによって間違えを減らすことができた。具体的に示したことによって意識できたことは他の課題にも繋がる良い行動だった。

②総務係

- ・採用計画の立案については現職員年齢・有資格保有状況等を取りまとめ、10年間での職員推移のシミュレーションを行った。次年度以降の採用計画に反映させる。
- ・安全効率的な業務環境整備については次年度のナースコール機器導入に向け、かつぼ園のネットワーク環境整備を行った。機器導入に際し、各事業所と連携を取りデータを取りまとめ業務改善に繋げていく。
- ・地域への広報については予定・企画した体験会等は新型コロナウイルスの影響により実施に至らなかったが、昨年度から継続しているインスタグラムは、投稿数400件、フォロワー1,000人を超える事ができたため、次年度もさらにインスタグラムを活用した広報を行っていく。

(3) 健康管理課

① 食事サービス係

- ・毎日のミールラウンドでご利用者の咀嚼嚥下状態の把握に努め、必要に応じ食事形態の変更や食事量の調整を行い、ご利用者が誤嚥等の事故なく一人ひとりの状態にあった食事提供ができた。
- ・毎日厨房内で目視や聞き取りによる調理機器等の点検を行い、不備等に迅速に対応するよう努めたことにより、大幅な遅延なく食事提供ができた。
- ・短期入所事業における調理レクでは、献立の一部をご利用者に作っていただくことで、ご本人の意欲向上に繋がった。
- ・ふそき元気塾では、口腔ケアや食事についての講話を行った。参加者からは「家庭でもこれらのことに意識して生活している」との声が聞かれた。口腔ケアや食事についての興味関心が高まっていることを実感した。

② 機能訓練係（健康管理課）

- ・ご利用者の身体機能維持を目的とした個別対応の機能訓練を今年度から導入した。（関節可動域訓練、起立・立位訓練等を10名程度、週2回実施）介護職員とともに継続的に実施できる体制作りを目指し、今年度より新設された施設サービス課のリハビリ分野担当と協働し定着を図った。一時は定着し職員の意識も高まったが、2月の新型コロナ発生により個別リハビリが実施できなかった期間が長くなり、今年度再度体制を構築する必要がある。
- ・機能訓練指導員の直接介入として、2階リハ室にてプランに基づき歩行訓練を行った。訓練希望が強い方が多いことから、非常に意欲的で生活の張り合いとなっている。
- ・ご利用者個々の身体状況に合わせ作業工程を分けて創作活動に取り組んだ。（手先が効く方はハサミを使った台紙作りや作品の仕上げの工程、細かい作業が難しい方は貼り絵や工程が少ない折り紙等）導入当初は機能訓練指導員が中心となって実施したが、徐々に他職種職員もできるよう環境を整備し、年度途中からは余暇担当と協働し作品作りを行うことができた。また、この活動を通してご利用者同士の交流が図られており、和やかな環境での活動となっている。

<資料>

職員の動向

採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	正規・準	パート	正規・準	パート
R4年度	13	7	15	3
R3年度	5	7	15	10

資格保有状況 (R5. 3. 31 現在)

単位：人 (実数)

区分	かつぼ園	福祉センター ふそき	ケアセンター 花の里	合計
総職員数	101	43	43	187
介護福祉士	60	18	29	107
社会福祉士	3	6	2	11
看護師	4	4	3	11
准看護師	3	2	1	6
管理栄養士	2	0	1	3
理学・作業療法士	2	0	0	2
介護支援専門員	16	11	2	29

*介護支援専門員は有効期限内の職員のみ

法人研修

開催月	定期研修	職種別研修・役職者研修 その他
5	感染症・食中毒対策研修(委員会主催) 接遇研修(人材育成委員会主催)	
6	身体的拘束適正化研修(委員会主催) リスク管理研修(委員会主催)	人事考課振り返り研修(本部主催)
7	個人情報保護とプライバシー保護について	事務職員職種別研修
8	救急救命講習	
9	感染症対応実地研修(委員会主催)	5S 活動説明会(本部主催)
10		新採用職員人事考課研修(本部主催)
11	リスク管理研修(委員会主催)	考課者研修人事考課を学ぶ(本部主催) 人事考課研修(動画視聴 本部主催) 役職者研修(本部主催)
12	身体的拘束適正化研修 高齢者の権利擁護・虐待防止等について(委員会主催)	介護職員職種別研修
1	認知症ケア研修(委員会主催) ターミナルケア研修	考課者研修フィードバック面接対応(本部主催)
2		褥瘡予防ケア研修(各拠点分野担当主催) 看護職員職種別研修
3	メンタルヘルス研修(委員会主催)	新人フォローアップ研修(本部主催) 認知症ケアの実践と理解研修(本部主催) ハラスメント周知研修(本部主催)

地域貢献自主事業（介護予防事業）

① 花華クラブ（月2回）

実施回数		延べ参加人数	
R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
13	18	121	187

② お元気学校（月2回）

実施回数		延べ参加人数	
R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
13	18	121	187

③ レインボー健康体操

ふそき教室（週1回）

実施回数		延べ参加人数	
R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
41	13	706	121

水穴教室（隔週）

実施回数		延べ参加人数	
R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
16	13	101	121

【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

1. 事業運営の成果

(1) 特別養護老人ホームかつぼ園

① 施設サービス課1・2係

- ・サービス提供内容の特長を伝えながらパンフレットを他機関へ配布し、重点的に入所申込者を増やす取り組みを実施した。結果、それら事業所からの申し込みは全体の約8割に上った。特長を伝えながらの配布は入所を検討されているご家族にケアマネジャーを通じて伝わり、結果申し込みの問合せが増えた。反面他界や他施設への入所等で取り下げる方も多くおられ待機者数は日々変動したが、取り組んだことにより事業所担当者との繋がりを持つことができ、待機者数は昨年度とほぼ同数を維持できた。また事情により入所を急がれる方の受け入れも連携を取りスムーズに行えた。
- ・2月中旬から1か月程度、新型コロナウイルスがまん延し入院者も出たことや、同時期にターミナルのご利用者が他界される等、3月は多くの入退所が生じたことから空床期間も長くなった。しかし、その他の月は安定した稼働率を維持できた。入退所に係る日数の短縮に向けて他職種協働によりスムーズな受け入れ体制を構築できたことで、昨年度より空床期間を年間82日短縮、稼働率も昨年度比+0.4%の結果となり、結果収益を増やすことができた。
- ・コロナ禍でも生活の様子が伝わるような出来事を伝えるという目標をたてInstagramにて細目に日常を発信した。ご家族からは「施設内の様子が分かり良かった」との感想を複数いただき職員の励みにも繋がった。
- ・談話室の机等の配置を工夫し、多くのご利用者が過ごしやすい環境整備を行った。それにより、機能訓練指導員等が実施する創作活動の時間が大幅に増え、ご利用者の機能や意欲の向上に繋がった。また、職員が利用者同士の交流や楽しみのある生活の提供について考える機会を多く持ち、次年度に向けて野菜作りや押し花の活用による作品作り等様々な意見が出た。今後はそれらを活かし活動内容の幅を広げ、様々なことにご利用者と一緒に取り組みたい。
- ・認知症ケアを充実させるため支援困難ケースの検討会を実施した。このことで認知症重度者の受け入れに対する職員の不安感が解消され、かつ統一した対応を行なうことができた。
- ・コロナ感染時、感染予防行動がとれない認知症の方への対応が難しかった。閉鎖された環境で最低限の職員数で対応したため、双方ストレスの高い状態となってしまった。感染拡大時期においても安心安全に生活していただけるよう、平時でのかかわり方や大切にしている事をプランに反映する等の他、感染時の予防行動の在り方など、他職種、係内全体で検討を行い実践していきたい。

②看護係

- ・日頃よりご利用者の健康状態にきめ細やかに対応し、感染症の発生時においては協力病院や主治医との連携を密に図ったことで、重傷者を最小限に抑え、大半の方は施設療養にて回復していただくことができた。
- ・看取りケアでは老衰の状態が伺える方には早めにご家族に十分に状態説明を行い、コロナ禍でも感染予防対策を取りながら面会していただくなど、ご家族の要望に可能な限り応えた。結果ご利用者の尊厳を大切にしたい穏やかな看取り介護を実施できた。

<資料>

①利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
実人数	4年度	105	106	106	105	104	103	109	107	106	106	101	110	1,268
	3年度	106	106	106	106	107	107	112	106	109	108	107	105	1,285
平均 介護度	4年度	4.15	4.13	4.11	4.10	4.11	4.12	4.13	4.15	4.17	4.20	4.19	4.11	4.14
	3年度	4.15	4.15	4.16	4.19	4.16	4.16	4.15	4.16	4.21	4.18	4.16	4.15	4.16
延べ利用 日数	4年度	3,118	3,155	3,097	3,221	3,222	3,110	3,212	3,101	3,216	3,215	2,849	3,132	37,648
	3年度	3,089	3,195	3,075	3,212	3,207	3,070	3,105	3,044	3,205	3,185	2,891	3,207	37,485
稼働率	4年度	99.9%	97.9%	99.3%	99.9%	99.9%	99.7%	99.6%	99.4%	99.8%	99.7%	97.8%	97.1%	99.2%
	3年度	99.0%	99.1%	98.6%	99.6%	99.5%	98.4%	96.3%	97.6%	99.4%	98.8%	99.3%	99.5%	98.7%
	増減	0.9%	-1.2%	0.7%	0.3%	0.5%	1.3%	3.3%	1.8%	0.3%	0.9%	-1.4%	-2.3%	0.4%

②入退所状況

入所	在宅	老健	病院	法人内施設	他法人施設	合計
4年度	20	3	10	3	4	40
3年度	20	11	10	4	0	45

退所	在宅	施設 (看取り)	入院中	他施設、病院 へ退所	合計
4年度	0	34(32)	0	6	40
3年度	0	39(36)	0	0	39

③余暇活動状況

活動名	実施回数	延べ参加人数
喫茶	21	603
特養花華	4	48
調理クラブ	3	28
書道クラブ	6	62
生け花クラブ	6	66

月	内容	月	内容
4	お花見ドライブ ふれあいタイム	10	大運動会・駄菓子屋
5	すこやか作品作り ふれあいタイム	11	紅葉ドライブ・写真会
6	ドライブ・七夕作品作り すこやか作品作り	12	足湯
7	お茶会	1	新年会・絵馬作り
8	スイカ割り・盆供養	2	節分
9	敬老会	3	春のお茶会・彼岸供養

(2) 短期入所事業かつぼ園 (施設サービス課短期係)

- ・昨年度より重視して取り組んだ利用時の日中の過ごし方について、余暇活動等をさらに進化させ、ご利用者の喜びや張り合いになる活動が提供できるように内容の質の向上を目指した。また、インスタグラム等を活用しその内容を継続的に発信した事で、他事業所のケアマネジャーやご利用者のご家族から、非常に多くの感想をいただき、「楽しみがあるショート」として認識されつつあり、そのことが当事業所の強みとなった結果、ご利用者の役割保持や意欲向上を目的とした新規利用者の依頼が増えた。特に初めて利用される方に対しては、「また利用したい」と感じて頂けるよう、チーム全員が重点的に関わり、個々人の特性の理解を深めるとともに、職員同士が活発に情報交換したことで、ご利用時の満足度も向上し、結果再利用率が81%となった。
- ・認知症重度の方への統一したケアの提供も継続し取り組んだ。利用者、職員双方の不安軽減に繋がるよう事例検討や研修会を頻回に行い、「認知症重度者への対応に以前ほど負担を感じなくなった」「意識や対応を見直すことで転倒も減った」等職員から感想が聞かれた。また、職員がご利用者の近くにいるよう努めたことで、ご利用者個々の「できる事」「好きな事」への気付きが増え、日々の関わり方に活かされ、転倒の予防等安心安全な利用にも繋がった。
- ・昨年度は年間11名の登録者が特養やグループホームへ入所された。特に3月は特養に6名が入所された。あわせて2月に発生した新型コロナのクラスターによって受け入れ中止を余儀なくされ、単月としては稼働率が89.5%まで低下した。しかし、相談員を中心に早めの発信と情報共有を行い、スムーズに多くの新規ご利用者を受け入れることができた。
- ・法人内他事業所の連携を強化しつつ、前述したような様々取り組みを継続して実践したことで、目標稼働率を大幅に越える事ができた。

<資料>

①利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	4年度	664	686	681	666	696	645	670	646	689	668	501	673	7,885
	3年度	453	519	585	634	663	627	623	647	669	627	643	681	7,371
平均 介護度	4年度	3.32	3.30	3.26	3.28	3.23	3.16	3.05	3.06	2.87	3.04	2.85	2.90	3.12
	3年度	3.17	3.20	3.17	3.28	3.27	3.37	3.42	3.32	3.39	3.41	3.32	3.33	3.31
実人数	4年度	48	48	53	50	49	55	56	50	55	53	39	55	611
	3年度	44	44	51	48	47	50	47	50	50	46	50	47	574
稼働率	4年度	110.7%	110.6%	113.5%	107.4%	112.3%	107.5%	108.1%	107.7%	111.1%	107.7%	89.5%	108.5%	107.9%
	3年度	75.5%	83.7%	97.5%	102.3%	106.9%	104.5%	100.5%	107.8%	107.9%	101.1%	114.8%	109.8%	101.0%
	増減	35.2%	26.9%	16.0%	5.2%	5.3%	3.0%	7.6%	-0.2%	3.2%	6.6%	-25.4%	-1.3%	6.8%

②余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	花見ドライブ	10	秋葉神社ドライブ
5	ハイブドライブ・おはぎ作り	11	金峰神社ドライブ
6	花火館ドライブ フルーツポンチ作り	12	クリスマス会・ケーキ作り
7	青善弁当テイクアウト たこ焼き作り	1	新年会・白玉お汁粉
8	夏祭り・ずんだアイス作り	2	節分
9	ミニゲーム大会・花火・敬老会	3	チョコ菓子作り 握り寿司パーティー
通年	畑作業、作物収穫祭、調理、季節の設え作成、体操&ゲーム大会		

(3) デイサービスセンターかつぼ園 (在宅サービス課)

- ・新規ご利用者、特に他法人居宅介護支援事業所が担当するご利用者を確保するため、昨年度より多くの居宅介護支援事業所を訪問し、関係性を強化し常時空き情報を発信した。また新型コロナウイルス感染症の流行によって新施設完成時に見学会が実施できなかったことから、今年度予約制の施設見学会を実施した。見学された方からは質問も多くあがり、説明を丁寧にする事で利用に繋がった。さらに担当の居宅介護支援事業所との関係性が強化され、他の新規ご利用者を紹介していただくことができた。結果、昨年度と比較し他法人居宅介護支援事業所からの新規利用者が大幅に増加した。
- ・要支援者の増加と重度者の減少、かつ週に複数回利用された方が入院や他界されたことで利用延人数は大幅に落ち込んでしまい目標稼働率が達成できなかった。
- ・アクティビティ活動は、個別や小集団で取り組んだ。しめ縄作り等の創作や刺し子・ポシェット作り等の裁縫は特にご利用者から人気が、自宅でも作成しその作品を身に付けご利用されるなど、楽しみになっているという声も聞かれた。
- ・個別機能訓練は要介護者の約8割近くから要望があり、参加者は自身の目的を理解した上で訓練へ参加され、ニーズが高い状況が継続している。職員配置の関係で前年より加算収益は減収となった。

<資料>

①利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績(平均)
延べ人数	4年度	635	651	671	670	681	676	693	657	619	628	622	709	659
	3年度	699	706	731	756	753	719	729	699	709	607	623	631	697
平均介護度	4年度	2.61	2.63	2.60	2.41	2.46	2.47	2.42	2.51	2.52	2.61	2.58	2.66	2.54
	3年度	2.54	2.53	2.58	2.50	2.49	2.54	2.58	2.58	2.58	2.55	2.61	2.65	2.56
実人数(要介護)	4年度	68	68	71	72	75	75	73	74	74	74	76	83	883
	3年度	75	77	78	77	77	77	78	77	77	75	75	71	914
実人数(要支援)	4年度	2	4	6	6	7	7	7	8	8	8	9	7	79
	3年度	5	6	5	5	3	3	3	2	3	3	2	2	42
稼働率	4年度	84.7%	84.0%	89.5%	86.5%	87.9%	90.1%	89.4%	87.6%	85.4%	86.6%	88.9%	91.5%	87.7%
	3年度	93.2%	91.1%	97.5%	97.5%	97.2%	95.9%	94.1%	93.2%	97.8%	86.7%	89.0%	84.1%	93.1%
	増減	-8.5%	-7.1%	-8.0%	-11.1%	-9.3%	-5.7%	-4.6%	-5.6%	-12.4%	-0.1%	-0.1%	7.4%	-5.4%

②余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	園庭お花見(歩行訓練) ベランダ菜園(~11月頃まで)	10	しそ味噌作り 大運動会
5	エコバック作り	11	
6	とくし丸買物・梅シロップ作り	12	クリスマス会・鏡餅作り フラワーアレンジメント(しめ縄作り)
7	スイカ割り	1	新年会
8	夏祭り・フラワーアレンジメント ポシェット作り	2	節分
9	敬老会	3	年度末感謝祭

(4) 在宅介護支援センターかつぼ園 (在宅サービス課)

- ・認知症状がみられる高齢世帯や生活困窮世帯、家族に障害がある世帯、身寄りのない独居高齢者等様々な課題を抱えるケースが地域に増えており、地域包括支援センターや各種関係機関と連携を取りながら積極的に支援した。課題も多岐にわたることから連絡調整にかかる時間も増加しているが、毎月の目標稼働率は達成できた。
- ・日々の業務が正しく、かつ効率的に行えるよう、個々の業務を見直すため、法令順守や効率化にポイントを置いた業務チェックシートを作成し活用した。今後新人職員が配属された際の評価にも取り入れていく。
- ・ケアマネジメントの平準化を図るため「適切なケアマネジメント手法」について事業所内で学習会を度々設けた。「基本ケア」「疾患別の視点」について支援内容やアセスメント項目の視点に漏れがあることに気付く等、個々の職員の育成にも繋がった。

<資料>

①利用者実績

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付費 請求件数	4年度	142	139	142	143	146	145	140	138	142	136	134	137	1,684
	3年度	136	139	144	141	141	139	138	139	144	144	142	140	1,687
介護予防 支援	4年度	25	26	26	26	26	28	31	30	30	29	28	27	332
	3年度	23	23	23	22	23	24	25	23	23	24	24	24	281
総合事業	4年度	2	2	3	2	2	2	1	2	2	2	3	4	27
	3年度	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	15
稼働率	4年度	105.8%	104.1%	106.5%	106.8%	108.8%	108.8%	106.1%	104.8%	106.8%	103.1%	101.7%	103.7%	105.6%
	3年度	101.7%	104.1%	107.5%	105.1%	105.5%	104.4%	104.1%	104.1%	107.9%	108.2%	106.8%	105.5%	105.4%

②訪問調査

年度	件数
4年度	220
3年度	138

2. ボランティア・実習生等の受け入れ

(1) ボランティアの受け入れ

令和4年度については、桂町老人会（桂寿会）及び山本地区民生委員協議会の皆様による除草作業のボランティアのみ受け入れを行った。

(2) 実習生の受け入れ

受入事業所	区 分	R4 年度		R3 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (管理栄養士資格取得)	1	10	1	10
	悠久山栄養調理専門学校 (栄養士資格取得)	1	10	1	10
	悠久山栄養調理専門学校 (調理師資格取得)	2	20	0	0
支援センター	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	9	18	12	24
合 計		13	58	14	44

3. 苦情（意見）内容

デイかつぼ園	内容①	申出人：ご家族 利用後ご家族から「部屋の暖房がついており、部屋が暑くなっていた。」と連絡があった。非常に外気温が暑い日だったうえ、ご本人は重介護状態で体温調整も難しい方だった。
	原因と処理	送迎した職員が、エアコンの冷房スイッチではなく誤って暖房スイッチを入れてしまった。すぐに管理者が謝罪した。
	改善策（結果）	部屋へ送り届けた際にすぐに冷房を入れ、退出時に再度確認をするように周知徹底を図った。

【拠点・福祉センターふそき】

1. 事業運営の成果

(1) 高齢者センターふそき

- ・自主事業やイベント実施回数の増加、利用制限等一部解除により専用室利用者数、個人入館者数、総入館者数全てにおいて前年度比で増加した。
- ・行事については、はかま紙教室において新型コロナウイルスのまん延状況や前年度の参加人数等を勘案し中止としたが、映写会は12月より再開し多くの方からご利用いただくことができた。
- ・フラワーアレンジメント教室については月1回実施することができ、参加者数も増加した。

<資料>

① 利用者数

項目	年度	延べ人数	前年度比 (%)
専用室利用者	R4	8,436人	111.9%
	R3	7,541人	
個人入館者	R4	6,492人	133.5%
	R3	4,863人	
合計(総入館者)	R4	14,928人	120.3%
	R3	12,404人	

② 行事等の状況

行事名	年度	回数	参加人数
フラワーアレンジメント	R4	12回	107人
	R3	8回	63人
映写会	R4	8回(1日2回)	52人
	R3	0回	0人
はかま紙教室	R4	0回	0人
	R3	1回	6人

(2) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・昨年度からの利用者減を回復させることができなかったことから、長岡市と協議を重ねた結果、認知症対応型通所介護を11月から休業した。休業にあたってご家族への丁寧な説明の実施や、職員配置や業務内容の見直しを行い、併設する通所介護へ移行を希望された方が不安なくご利用いただけるよう努めた。
- ・定期的な地域へのかわら版の配布や関係機関への働きかけにより、新型コロナウイルスの感染や大雪の交通障害により業務縮小や休業もあったが、通所介護については、実人数、稼働率ともに昨年度より増加することができた。
- ・職員の時間外勤務を減らすことを目標に掲げ取り組んだが、認知症対応型通所介護の休業に伴う業務や新型コロナウイルスへの対応など初めての業務も多く、削減には至らなかった。
- ・コロナ禍ではあったが、近隣の保育園とのお花を通じての交流を継続し実施できた。
- ・新型コロナウイルスの感染対策を継続しながら、歌の会や調理活動を再開した。歌の会は「楽しかった」「またみんなで歌いたい」と声があがり、感染対策を図りながら継続実施している。調理活

動では「おはぎ」作りを行い、ご利用者同士で教えあったり等交流も図られ、「初めて作った」「簡単に美味しい」「家でも作ってみる」と大変好評だったことから、今後新たなメニューでの活動も計画したい。

<資料>

①利用者実績（一般型）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	4年度	708	779	781	835	628	763	806	795	738	778	764	864	9,239
	3年度	729	801	744	714	756	729	769	712	728	691	610	711	8,694
平均 介護度	4年度	2.39	2.41	2.45	2.46	2.41	2.54	2.47	2.42	2.44	2.44	2.48	2.43	2.39
	3年度	2.57	2.66	2.62	2.52	2.55	2.54	2.65	2.49	2.51	2.51	2.39	2.31	2.44
実人数 (要介護)	4年度	81	83	86	86	84	86	84	93	93	89	92	95	1,052
	3年度	90	88	84	85	84	84	81	79	81	80	83	82	1,001
実人数 (要支援)	4年度	11	11	13	13	12	14	14	12	12	13	12	14	151
	3年度	16	13	14	14	14	16	16	14	13	13	10	11	164
基準該当 サービス	4年度	30	26	13	23	20	5	7	7	5	13	14	15	178
	3年度	4	5	4	4	14	11	22	22	44	39	37	40	246
稼働率	4年度	78.7%	83.1%	86.8%	89.8%	67.5%	84.8%	86.7%	88.0%	82.0%	83.7%	91.0%	92.9%	84.6%
	3年度	83.8%	86.1%	82.7%	76.8%	81.3%	81.0%	82.7%	79.1%	80.9%	76.8%	72.6%	76.5%	80.0%
	増減	-5.1%	-2.4%	4.1%	13.0%	-13.8%	3.8%	4.0%	8.9%	1.1%	6.9%	18.3%	16.5%	4.6%

(認知症型・11月から休業)

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	4年度	144	147	146	139	94	110	89						869
	3年度	157	171	173	169	147	152	152						1,121
平均 介護度	4年度	2.76	2.72	2.74	2.57	2.57	2.45	2.35						2.59
	3年度	2.75	2.85	3.04	2.84	2.84	2.86	2.76						2.85
実人数 (要介護)	4年度	18	18	19	19	16	17	15						122
	3年度	20	20	20	21	20	20	20						141
実人数 (要支援)	4年度	0	0	0	0	0	0	0						0
	3年度	0	0	0	0	0	0	0						0
稼働率	4年度	54.5%	55.7%	57.9%	50.4%	35.6%	43.7%	33.7%						47.4%
	3年度	62.3%	64.8%	68.7%	61.2%	55.7%	60.3%	57.6%						61.5%
	増減	-7.8%	-9.1%	-10.8%	-10.8%	-20.1%	-16.6%	-23.9%						-14.2%

②余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	お花見ドライブ	10	ふそきコミュニティーセンター 文化祭作品出展
5		11	
6	菖蒲湯・梅シロップ作り	12	クリスマス会
7		1	新年を迎える会
8	ふそき夏祭り	2	節分
9	長寿を祝う会、すこやかとし び祭り作品作り	3	春を迎える会

(3) 元気塾（くらし元気アップ事業）

- ・地域包括支援センター等他機関と連携を図り、スムーズに新規利用者を受け入れできるよう調整を行い、稼働率減を防止し前年度対比 1.7%増となった。ただし、12月単月は大雪による休業（12月20日：火曜日教室）のため、稼働率が大きく低下した。

- ・関係機関に事前に活動内容の詳細を周知することで、活動を理解し参加されるご利用者が増え、以前のような利用開始後のミスマッチはほとんどなくなった。
- ・登録人数はほぼ20～21人を確保できていたが、昨年度に比べるとキャンセル数が増加した。自己都合によるキャンセルも多くあったことから、より魅力的なサービス内容を提供していきたい。また、令和4年度から長岡市の運動指導員による教室を月に1回、定期的を開催することになり、ご利用者に大変喜ばれた。

<資料>

①利用者実績（火曜・金曜教室 合算）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	4年度	172	149	150	174	164	147	148	168	119	135	134	146	1806
	3年度	140	142	151	149	135	136	163	162	155	126	145	158	1,762
実人数	4年度	41	41	40	42	42	42	40	40	41	40	40	39	488
	3年度	38	39	39	40	38	36	39	39	41	38	39	38	464
稼働率	4年度	95.3%	93.2%	93.8%	97.0%	90.0%	91.9%	92.5%	93.3%	74.4%	84.4%	83.8%	80.4%	89.2%
	3年度	87.6%	88.8%	83.2%	83.3%	84.4%	85.0%	90.8%	90.3%	96.9%	90.7%	90.7%	88.5%	88.4%
	増減	7.7%	4.4%	10.6%	13.7%	5.6%	6.9%	1.7%	3.0%	-22.5%	-6.3%	-6.9%	-8.1%	0.8%

(4) 介護プランセンターふそき

- ・毎週事業所内で会議を開催し、各職員の担当ケースの動向を把握することで、ご利用者の今後の動きを予測することができ、スムーズに新規ご利用者の受け入れを行えたことから、目標稼働率を達成することができた。また緊急性が高いご利用者に対しては地域包括支援センターと連携し、迅速に支援することができた。
- ・他法人の主任介護支援専門員と共同で、7月『主治医との連携について』と11月『障害者支援センターとの連携について』の研修会を企画・開催した。近年ご利用者のご家族に精神疾患等の障がいを抱えている方が増えていたが、障がい者サービスに対する認識が低かったことから、支援に対して課題を感じていた。この研修会を通じ、連携や相談方法、サービスの内容等を学ぶことができ、ケアマネジャーが必要な知識の幅がひろがった。
- ・併設する認知症対応型通所介護休業に伴い、ご利用者がスムーズに事業所移行ができるよう調整を行った。ご利用者やご家族への意向確認、他法人事業所への紹介等、不安なくサービスを継続できるよう努めた。

<資料>

①利用者実績

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付費 請求件数	4年度	132	130	133	133	133	133	130	133	134	134	130	128	1,583
	3年度	138	132	137	136	142	137	136	132	135	127	127	129	1,608
介護予防 支援	4年度	14	14	14	11	11	11	12	12	13	12	12	12	148
	3年度	11	10	12	13	11	14	14	14	15	15	15	14	158
総合事業	4年度	5	5	5	5	5	6	6	7	5	5	5	3	62
	3年度	4	5	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	52
稼働率	4年度	104.4%	103.0%	105.1%	104.4%	104.4%	104.4%	103.0%	105.6%	105.9%	105.2%	102.2%	100.0%	104.0%
	3年度	107.4%	102.6%	105.6%	105.9%	107.4%	103.7%	107.4%	103.7%	105.9%	98.5%	102.2%	102.6%	104.4%

②訪問調査

年度	件数
4年度	195
3年度	199

(5) 長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・新型コロナウイルスの影響で実態把握に関する訪問を控えていた時期もあったが、発生数の減少を受けて再開し、地域住民からの相談に迅速に対応できた。結果年間目標件数を達成できた。
- ・相談者の抱える課題が多様化しているため、地域との日頃からの関係性を保ちつつ、他分野の関係機関とケース会議を持ち体制を強化し支援を行った。
- ・包括的、継続的ケアマネジメント支援業務における環境整備加算をはじめ、圏域内での研修会や連携会議を開催し、関連する加算を取得できた。

<資料>

① 総合相談支援業務

・相談人数

（単位：件）

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
R4	1,954	264	901	134	3,253	162
R3	2,129	261	979	184	3,553	364

・相談経路

（単位：件）

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
R4	86	837	249	26	56	45	18	162	24	17	1,520
R3	61	1,139	228	21	39	44	17	364	19	19	1,951

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

年度	地域ケア会議 開催回数
R4	0
R3	1

③ 高齢者権利擁護業務

・虐待対応

年度	計画作成件数	延べ対応件数
R4	25	376
R3	16	298

・コア会議開催状況

年度	コア会議	評価会議	個別 ケース会議	終結会議	合計
R4	27	5	1	7	41
R3	16	4	0	8	28

④ 介護予防ケアマネジメント業務（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R4	635	248	883
R3	591	315	906

⑤ 介護予防支援業務（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R4	426	1,741	2,167
R3	372	1,685	2,057

⑥ 年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
R4	1,061	1,989	3,050
R3	963	2,000	2,963

2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

① ボランティアの受け入れ

令和4年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により受け入れをできなかった。

② 実習・体験実習等の受け入れ

受入事業所	区分	R4年度		R3年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンター ふそき	北陸福祉保育専門学院 (小学校教諭普通免許)	5	25	9	39
	新潟県社会福祉協議会 (介護等体験)	1	5	1	5
	長岡こども福祉カレッジ (レクリエーション実習)	1	5	9	18
介護プランセンターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	8	16	14	28
地域包括支援センターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	0	0	8	16
	悠久崇徳学園長岡崇徳大学 領域別実習	8	16	0	0
合計		23	67	41	106

3. 苦情（意見）内容

デイふそき (認知症対応型)	内容①	<p>申出人：長男</p> <p>下記の出来事があり、事業所に不信感を抱いたとの訴えがあった。</p> <p>①洗濯を望まない衣類が洗濯物と一緒に返却された。</p> <p>②迎え時の職員の態度が横柄だった。</p> <p>③物品の紛失や返却時方法が不満だった。</p>
	原因と処理	<p>長男とのコミュニケーション不足が主な要因。</p> <p>接遇については、ご本人が難聴のため大声になってしまった。</p> <p>また職員が統一した対応が取れていなかった。</p> <p>それぞれの原因と改善策を長男に説明し改めて謝罪した。</p>

	改善策 (結果)	職員は送迎時にご家族と必ず顔を合わせて確認をすることとした。 また接遇面においては、ご利用者のペースに合わせて声掛けをする等 管理者から周知徹底を図った。 物品の管理については、荷物チェック表で確認し職員の共通認識を図 った。あわせて管理マニュアルを作成し再発防止を図った。
認 知 症 対 応 型	内容②	申出人：長男 事業休業について、送迎時に職員から口頭で説明があった。とても大 事なことなのでそのような場面で説明されたことが不満だった。
	原因と処理	早くお知らせしなければという思いから、説明場面に配慮できなかつ たことが要因。謝罪し、時間を取って丁寧に説明を行った。
	改善策 (結果)	重要なお知らせは落ち着いた環境で、丁寧な説明を行っていく。
デ イ ふ そ き (一 般 型)	内容①	申出人： 本人 頭髪に痒みがあったが、説明もなく入浴を最後にされ、浴槽から早く 上がるように言われた。また、職員が後ろでこそこそ話をしたり、担 当ケアマネジャーにも連絡をされたり、自分の知らない所では菌扱 いされ不快に感じた。
	原因と処理	ご本人に説明したが、納得したか確認しないまま対応した。また職員 間の連携不足により、症状等の情報伝達が正確に行われなかった。
	改善策 (結果)	対応の説明は、ご本人に分かり易い言葉で懇切丁寧にを行うとともに、 理解されたか確認を行う。また、職員同士で情報共有を行う際も同様 に分かり易く言葉で伝えあうこととし、周知徹底を図った。 ご本人及びご家族に説明し謝罪した。

【拠点・ケアセンター花の里かつぼ】

1. 事業運営の成果

(1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

- ・待機者が減少したことで、新規入居者の選定が厳しい状況だったが、法人内入所施設と連携を図り30名以上の待機者を確保することができた。結果、入退居時の空床は平均5日間となり入退所に伴う空床は削減できたが、入院による空床が2倍近く増えたため平均稼働率は97.8%、前年度比-0.4%となったが新たな加算取得により収益は増収となった。支出ではエネルギー価格高騰の影響で水道光熱費・燃料費が大幅に増えたため、介護用品等の見直しや修繕費を抑えるよう努めたが収支差額は前年度から約-240万円となった。
- ・待機者の中には、入居にあたっての意思確認をすると経済的な理由で多床室を希望され辞退されたり、すでに他界されていたりなど、連絡調整に時間と手間がかかった。
- ・コロナ禍の面会制限が長期間となり家族との繋がりの希薄化が懸念されたため、居室担当を中心に電話連絡や年に3回のお便り(写真付き)の送付で日常生活の様子を細目に伝えた。あわせてインスタグラムを活用した広報も力をいれ、多くの方に見ていただけた。
- ・「ユニットケア」の基本を職員全員で共有する研修を実施したことで、各ユニットが目標にむかって取り組むことができた。
- ・多職種連携により、異常を早期発見し受診に繋げる対応ができた。年間入院者6名のうち5名は2週間以内の入院期間だった。ターミナルケア対象者が7名にのぼったが、職員が寄り添って対応し、いずれも穏やかな最期を迎えることができた。
- ・新型コロナウイルスの感染予防の徹底を図り、事業所内でのクラスター発生を予防できた。
- ・委託給食業者と連携し、入居者の要望を献立に取り入れることができた。また季節感のある食事やおやつを提供、食事場所に花を飾るなど環境整備にも取り組み、季節の変化が感じられる環境で食事を提供できたことで、入居者の食事に関する満足度も向上した。

<資料>

①利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
実人数	4年度	29	30	29	29	29	29	29	29	30	31	29	30	353
	3年度	32	30	30	29	29	30	29	30	30	31	29	31	360
平均 介護度	4年度	4.14	4.17	4.17	4.17	4.24	4.24	4.24	4.24	4.30	4.26	4.21	4.16	4.21
	3年度	4.14	4.33	4.30	4.28	4.38	4.23	4.34	4.37	4.33	4.26	4.21	4.16	4.28
延べ利用 日数	4年度	865	895	870	866	867	831	839	849	891	874	812	890	10,349
	3年度	852	896	867	889	870	851	899	859	884	889	768	872	10,396
稼働率	4年度	99.4%	99.6%	100.0%	96.3%	96.4%	95.5%	93.3%	97.6%	99.1%	97.2%	100.0%	99.0%	97.8%
	3年度	97.9%	99.7%	99.7%	98.9%	96.8%	97.8%	100.0%	98.7%	98.3%	98.9%	94.6%	97.0%	98.2%
	増減	1.5%	-0.1%	0.3%	-2.6%	-0.3%	-2.3%	-6.7%	-1.1%	0.8%	-1.7%	5.4%	2.0%	-0.4%

②入退居状況

入居	在宅	老健	病院	法人内施設	他法人施設	合計
4年度	1	1	4	1	1	8
3年度	5	3	2	4	1	15

退居	在宅	施設 (看取り)	入院中	他施設、病院 へ退所	合計
4年度	0	7	0	1	8
3年度	0	12	0	3	15

③余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	お花見会、喫茶（2回）	10	外出ドライブ、ユニット調理（サツマイモスイーツ）、作品作り（クリスマスリース）、体操クラブ、誕生日会、喫茶（2回）
5	おはぎ作り、ふれあい畑作業（苗植え）、喫茶（2回）	11	ユニット調理（サツマイモおやつ作り）、体操クラブ喫茶（1回）
6	畑作業（種まき）、ユニット調理（キュウリモみ）、喫茶（2回）	12	クリスマス会、ユニット調理（茶金絞り）
7	アイスを食べよう（夏イベント）、喫茶（1回）	1	新年会、体操クラブ
8	喫茶（2回）	2	ユニット調理（プリンアラモード）、体操クラブ、喫茶（2回）
9	敬老会、花火大会、畑作業（収穫）、喫茶（2回）	3	縁日、体操クラブ。喫茶（2回）

活動名	実施回数	延べ参加人数
喫茶	18回	216人
ユニット調理	4回	36人
畑作業	3回	13人
ユニット交流余暇	4回	116人
敬老会	1回	29人
花火大会	1回	10人
ドライブ	2回	6人
作品作り	1回	5人
体操	5回	49人
クリスマス会	1回	29人
新年会	1回	29人
誕生日会	1回	10人

(2) グループホーム花の里かつぼ

- ・例年冬期間に転倒事故が発生し入院により稼働率が低下する傾向があったが、職員全員でこれを共有し、転倒リスクの高い方の対応や環境整備について検討し意識を高く持つことで、転倒による入院を防ぐことができた。また、体調不良等を早期発見し受診に繋げることで、空床期間が短縮され、99.1%の目標稼働率を達成した。また法人内各事業所との連携が強化され待機者確保に繋がった。
- ・新型コロナウイルスの感染対策を講じたうえで、地域や各種学校とできる交流を検討し、桂小学校の花活動（ありんこ活動）や入学、卒業に合わせお祝いの作品贈呈、3.4年生による施設訪問、中越高校野球部への応援交流などが実施できた。また山本コミュニティーセンター文化祭への作品展示、山本野菜市での買い物、ゴミステーション清掃活動等多岐にわたる活動を今年度も実施した。運営推進会議で報告をしたところ、多くのご意見をいただき職員の励みとなった。
- ・ご家族や地域住民へグループホームでの生活の様子を発信するため、ご家族へのお便りの発行回数を増やしたり、ホームページやインスタグラム、地域への回覧を実施した。
- ・入居者個々の強みを活かすケアを実施するため、介護サービス計画書に具体的なサービス内容を記載するよう努め支援につなげた。またそのことにより、身体状況やサービス内容をご家族によりわかり易く説明することができた。

<資料>

①利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
実人数	4年度	19	18	18	18	18	18	18	18	19	18	17	19	218
	3年度	18	19	18	18	18	18	18	18	19	19	20	18	221
平均 介護度	4年度	2.84	2.72	2.72	2.72	2.78	2.78	2.72	2.56	2.53	2.61	2.65	2.79	2.70
	3年度	2.61	2.63	2.67	2.67	2.61	2.61	2.61	2.61	2.79	2.68	2.95	2.67	2.68
延べ利用 日数	4年度	533	544	528	558	558	540	549	538	554	558	504	557	6,521
	3年度	534	548	539	556	558	540	558	531	549	548	474	555	6,490
稼働率	4年度	98.7%	97.5%	97.8%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%	99.6%	99.3%	100.0%	100.0%	99.8%	99.3%
	3年度	98.9%	98.2%	99.8%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%	98.3%	98.4%	98.2%	94.0%	99.5%	98.7%
	増減	-0.2%	-0.7%	-2.0%	0.4%	0.0%	0.0%	-1.6%	1.3%	0.9%	1.8%	6.0%	0.4%	0.5%

②入退所状況

入居	在宅	老健	病院	法人内施設	他法人施設	合計
4年度	4	0	0	0	0	4
3年度	4	1	0	0	0	5

退居	在宅	施設 (看取り)	入院中	他施設、病院 へ退所	合計
4年度	0	0	0	4	4
3年度	0	0	2	3	5

③余暇活動状況（デイ花の里かつぼ共通）

月	内容	月	内容
4	花見ドライブ	10	東山ファミリーランドドライブ
5	おはぎ作り・すこも作品作り	11	収穫祭（秋の味覚弁当）
6	みやじ様外出・草取り	12	忘年会・お正月作品作り
7	夏祭り・市内ドライブ	1	お正月の遊び
8	長岡花火見学	2	節分
9	長寿を祝う会	3	桂小卒業記念品作り

（3）デイサービス花の里かつぼ

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、認知症の症状や栄養状態等の細かな情報をご利用者やご家族へ伝え、在宅での生活を支援した。認知症状が強く他サービス利用が困難な方についても、関係機関と情報共有等の連携を図り受け入れることができた。また、ご利用者個々のニーズに沿って利用調整を行い、ご本人の興味がもてること、意欲に繋がる活動を提供する等生活支援に努めた。実人数や利用回数が増えたことから、稼働率の安定に繋がり目標稼働率 81.4%を達成できた。
- ・通所介護サービス計画に基づき、家庭的な落ち着いた雰囲気の中でご利用者の持つ能力に応じた日常生活動作の継続支援や余暇活動、外出活動等を実施することができた。
- ・ご利用者の中でグループホームへ入居された方が1名おられた。今後も慣れた環境・顔馴染みの関係性を築いていくことで、いざとなった時に安心して入居できるよう努める。

<資料>

①利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	4年度	73	77	82	86	62	70	72	67	74	73	72	90	898
	3年度	64	79	65	44	42	39	59	66	71	64	39	54	686
平均介護度	4年度	1.58	1.32	1.37	1.40	1.39	1.14	1.11	1.03	1.39	1.47	1.56	1.49	1.36
	3年度	2.13	2.24	2.43	2.23	1.86	1.46	1.68	1.74	1.70	1.55	1.82	1.22	1.86
実人数	4年度	6	8	8	8	7	7	7	6	8	7	6	7	85
	3年度	8	8	9	6	5	5	5	5	5	4	4	6	70
稼働率	4年度	81.1%	82.8%	91.1%	92.5%	66.7%	77.8%	77.4%	74.4%	79.6%	78.5%	85.7%	96.8%	82.0%
	3年度	71.1%	84.9%	72.2%	47.3%	45.2%	43.3%	63.4%	73.3%	76.3%	68.8%	46.4%	58.1%	62.5%
	増減	10.0%	-2.2%	18.9%	45.2%	21.5%	34.4%	14.0%	1.1%	3.2%	9.7%	39.3%	38.7%	19.5%

2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

令和4年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により受け入れをできなかった。

3. 苦情（意見）内容

0件

【シルバーハウジング生活援助員派遣事業】

市内3か所のシルバーハウジングに対し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、生活相談、安否確認や緊急対応などを行う「生活援助員(LSA)」を派遣した。(長岡市の受託事業)

- ・安否確認については、すべてのシルバーハウジングにおいて、ボタンの押し間違い、不在設定をせず外出したことによる誤報だった。援助員勤務中に救急車手配をしたケースもあった。
- ・入居者の高齢化に伴い疾患による入院が増えた。また入院には至らないが、認知症の発症や体調不良等も増加したことで、長岡市や地域包括支援センター等との連絡調整件数が増加した。

<資料>

【シルバーハウジング稽古町団地】

緊急対応・連絡調整等	内容(対応)	計
	安否確認	21
	救急車の手配	2
	市役所への連絡	13
	親族への連絡	9
	医療・福祉機関との連絡調整	87

入退室状況	内容	計
	介護施設入所	1
	入院等	5
	他界	2
	転居(市外)	1

【シルバーハウジング稲葉団地】

緊急対応・連絡調整等	内容(対応)	計
	安否確認	2
	救急車の手配	0
	市役所への連絡	15
	親族への連絡	0
	医療・福祉機関との連絡調整	103

入退室状況	内容	計
	介護施設入所	0
	入院等	10
	他界	0
	転居(市外)	0

【シルバーハウジング千歳団地】

緊急対応・連絡調整等	内容(対応)	計
	安否確認	19
	救急車の手配	0
	市役所への連絡	16
	親族への連絡	0
	医療・福祉機関との連絡調整	34

入退室状況	内容	計
	介護施設入所	1
	入院等	18
	他界	3
	転居(市外)	0